

News Letter

ニュースレター



2026年2月18日



世界を変えるための17の目標

従業員に対する人間ドックの無償化及び
「Working RIBBON 80%チャレンジ」への参加について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、がんや生活習慣病等の疾病予防対策推進を図るため、2026年度より役職員の人間ドック費用を無償化することといたしましたのでお知らせします。併せて厚生労働省が推進する、がん対策推進企業アクション及び女性会議 Working RIBBON の推進パートナーとして、「Working RIBBON 80%チャレンジ」に参加いたしました。

当行は今後も、従業員が将来にわたり活躍できるよう、健康経営®※を推進し、従業員の健康意識向上に取り組んでまいります。

記

1. 人間ドック費用の無償化について

- (1) 開始時期 2026年度
- (2) 目的 人間ドック費用を無償化することで人間ドックの受診を推奨し、従業員一人ひとりが自身の健康状態を定期的に把握できる環境づくりのため。
- (3) 概要 法定検診費用に加え、役職員の自己負担額を企業負担とすることで、無償化します。

2. 「Working RIBBON 80%チャレンジ」への参加について

- (1) 参加日 2026年2月18日
- (2) 概要 「Working RIBBON 80%チャレンジ」は、企業・団体における、乳がん検診や子宮頸がん検診の受診率向上を目指す取り組みで、当行も乳がん・子宮頸がん検診の受診率80%の達成を目指します。

※「健康経営®」は NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

名古屋銀行の健康経営の取り組みは下記 URL をご参照ください。

URL : <https://www.meigin.com/about/health-management.html>

以上

【参考】

＜当行のがん対策推進に関する主な取り組み＞

| 年月 | 内容 |
|----------------|---|
| 2023 年 7 月 | ・疾病短時間勤務制度の導入 |
| 2024 年 10 月 | ・健診結果管理システムの導入 |
| 2026 年 2 月 | ・尿がん検査「マイシグナル・スキャン」の導入 |
| 2026 年 2 月（当件） | ・人間ドック費用の無償化（2026 年度の健診より） ・「Working RIBBON 80%チャレンジ」に参画 |

＜がん対策推進企業アクションの概要＞

厚生労働省が推進する本プロジェクトは、企業と連携し、がん検診受診率の向上とがんになっても働き続けられる環境づくりを目指す取り組みです。企業が率先して従業員にがん検診の重要性を伝えることで、受診率 60%以上の達成を目指しています。

＜がん対策企業アクション女性会議「Working RIBBON」の概要＞

がん対策推進企業アクションにおいて、特に女性のがん対策を企業から強化するための専門的な取り組みです。働く女性が就労人口の約半分に近づく現在、企業にはがん対策の強化が求められており、とりわけ乳がんと子宮頸がんに焦点を当てた予防・早期発見の啓発、就労支援に重点を置いています。